

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和3年3月24日)

- 1 鳥取ジュニアアスリートの育成状況について
【スポーツ課】・・・ 2ページ
- 2 西部地区におけるタンDEM自転車の貸出場所の変更について
【スポーツ課】・・・ 3ページ
- 3 県内文化財の新規国登録について
【文化財課】・・・ 4ページ
- 4 みんなで地方創生事業の執行状況について
【中部総合事務所、西部総合事務所】・・・ 6ページ

地域づくり推進部

鳥取ジュニアアスリートの育成状況について

令和3年3月24日
スポーツ課

「鳥取ジュニアアスリート発掘事業」におけるジュニア選手の発掘・育成状況について報告します。

1 事業概要

オリンピック等で活躍する「鳥取育ち」のジュニアアスリートを発掘し、競技団体と連携して専門的に育成する事業（平成26年度より事業開始）。

(1) 競技体験プログラム・育成プログラム・・・小学5年生が対象（活動期間：1年間）

アーチェリー、自転車、ボート、ホッケー、ライフル射撃、レスリング、セーリング、カヌー、クライミング、空手道の10競技について、それぞれ年間2回の体験会を実施する。また、アスリートに必要な体力トレーニング、スポーツ教育、スポーツ食育の基礎的なプログラムを1年間継続的に実施する。

※R3はトライアスロンとフェンシングを追加することを検討中

(2) 競技別トライアウト・・・(1)の受講者に選ばれたことのない小学5年生～高校1年生を対象に募集

将来有望な資質を持つ競技者及び競技転向者を競技別選考会により発掘する。

(3) 鳥取ジュニアアスリート強化事業（県スポーツ協会に委託）・・・(1)を修了した小学6年生～高校3年生と(2)で発掘した選手が対象

選択した競技の競技団体指導下において活動する。

2 発掘・育成状況

(1) 1期生～5期生・トライアウト生

1期生は高2・高3の6名、2期生は中3・高1の18名、3期生は中2・中3の26名、4期生は中1の28名、5期生は小6の26名、2018トライアウト生は中1～高3の11名、2019トライアウト生は中1～中3の5名、計120名が活動した。今年度は限られた競技大会への参加であったが、年を追うごとに全国クラスの大会で好成績を収める者が増えている。

【主な成績等】

- ・全国高等学校ボート選手権特別大会
女子ダブルスカル 1位 中井風桜 杉原春菜（米子西高） 女子シングルスカル 3位 三中心花（鳥取城北高）
男子ダブルスカル 8位 竹山楓人 山本健斗（鳥取城北高）
- ・全国オンラインエルゴ大会（全国中学新人競漕大会代替大会）
男子シングルスカル 1位 佐々木静基（境港市立第三中） 8位 岡本成世（鳥取市立東中）
女子クオドルプル 1位 木下ふあり（米子市立弓ヶ浜中） 船澤奈菜（米子北斗中） 石倉莉子（米子市立湊山中）
- ・日本山岳・スポーツクライミング協会（JMSCA）スピードアスリート候補生
多月萌々菜（南部町立法勝寺中） 安達海音（米子市立福米中）
金谷春佳（鳥取市立国府中） 河上史佳（鳥取市立北中；女子ユースB日本代表）
- ・スピードユース日本選手権亀岡大会ユースB 1位 河上史佳（鳥取市立北中）
- ・全国小学生標準偏差ZOOMカヌー大会 高学年女子 1位 川本円花（湯梨浜町立東郷小）
- ・2020JCSAジュニアサイクルスポーツ大会（全国高校総体代替大会）男子ポイントレース 8位 林原聖真（倉吉東高）
- ・全国高等学校選抜ホッケー大会 男子ベスト8 山中惇生 伊藤優汰（八頭高） 女子ベスト8 梅實莉緒（八頭高）
- ・全日本アーチェリー連盟2021年度ゴールデンエイジ育成選手選考会
中学生男子 4位 河合夏旺（鳥大附属中） ※育成選手に選考

(2) 6期生（小5：40名）

鳥取ジュニアアスリート候補生として認定された小学5年生の40名に対して競技体験プログラムと育成プログラムを実施した。

育成プログラムの「スポーツ教育」では、オリンピックについての資料を活用しながら2020東京大会の価値やオリンピックに求められる役割等について学んだ。6期生にとっては世界を目指す意欲づけとなった。

来年度は継続意思を示した26名が競技団体指導下において専門的に競技活動を開始する。（残り14名は辞退）

【競技体験プログラム（ライフル射撃）】



【6期生の競技選択結果】

競技名	男	女	計
アーチェリー	3	1	4
自転車	2	0	2
ボート	1	1	2
ホッケー	1	4	5
ライフル射撃	2	4	6
セーリング	2	0	2
レスリング	0	0	0
クライミング	0	1	1
空手道	1	2	3
カヌー	1	0	1
計	13	13	26

(3) 7期生・2020トライアウト生の選考状況

- ・小学4年生60名の応募があり、30名を鳥取ジュニアアスリート7期候補生として選考した。来年度の競技体験プログラム及び育成プログラムを受講する。
- ・競技別トライアウトにより18名（アーチェリー3名、自転車5名、ボート5名、ホッケー2名、ライフル射撃3名）を選考した。来年度は競技団体の指導下において活動する。

西部地区におけるタンDEM自転車の貸出場所の変更について

令和3年3月24日

スポーツ課

障がいのある人の社会参加の推進のため東中西部の各地区においてタンDEM自転車の無料レンタルを行っているところですが、令和3年4月1日から、西部地区のタンDEM自転車の貸出場所を境港公共マリーナから夢みなとタワー1階の夢みなとレンタサイクルに変更します。

1 令和3年度タンDEM自転車の貸出場所

(西部)



夢みなとレンタサイクル
(SANKO 夢みなとタワー内1階)
(境港市竹内団地)

(中部)



サイクルセンターヨネザワ倉吉店
(倉吉市上井)

(東部)



鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア
(県立布勢総合運動公園内)

夢みなとタワーでは、昨年12月12日から株式会社永山(東京都)がレンタサイクル及び物販を行っており、本事業受託者の一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会が同社にレンタル業務を委託するものです。

※夢みなとレンタサイクル

- ・電動アシスト自転車6台、クロスバイク2台、子供用自転車2台を有料で貸し出している。

2 令和2年度の実績状況

(1) 貸出状況 (R3.2月末時点)

- ・東部(鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア) 2人
- ・中部(サイクルセンターヨネザワ倉吉店) 2人
- ・西部(境港公共マリーナ) 54人

(2) タンDEM自転車乗り方講習会の実施



弓ヶ浜サイクリングロード

開催日時	会場	参加者数
10月17日	白砂青松弓ヶ浜サイクリングコース	14名
10月24日	北栄町大栄ふれあい会館	14名
10月25日	県道鳥取河原自転車道線の一部	12名
	計	40名

※令和3年度も東部・中部・西部において各1回の講習会を実施予定。

○講習会参加者の声

- ・視覚に障がいがあり、20年ぶりに自転車に乗ることができて嬉しかった。
- ・今年で2回目の参加となり、上達もしてより長い距離を漕ぐことができて楽しかった。

【参考：鳥取県道路交通法施行細則の改正】(令和3年4月1日施行予定)

・タンDEM自転車の通行ができる区間等の改正

これまでタンDEM自転車の通行については、運転者の年齢制限を16歳以上とし、通行できる区間を指定路線のみに限定していたところ、これらの制限を撤廃し、年齢制限なく県内一般道路における走行を可能とされる予定。

※現在のタンDEM自転車走行可能区域

- ・鳥取地域 県道鳥取河原自転車道線の一部(約8.6km)
- ・倉吉地域 県道倉吉東郷自転車道線の一部(約5.4km)
- ・境港・米子地域 白砂青松弓ヶ浜サイクリングコースの一部(約7.8km)

県内文化財の新規国登録について

令和3年3月24日
文 化 財 課

令和3年3月19日（金）に開催された国の文化審議会（会長 佐藤信）は、下記の建造物を国登録有形文化財として登録するよう文部科学大臣に答申されました。

記

1 文化財の名称

飯田家住宅主屋〔鳥取市〕
 旧吉田医院、旧吉田璋也家住宅主屋〔鳥取市〕
 旧外江屋店舗（米子まちなか観光案内所）〔米子市〕
 旧高多家住宅主屋〔倉吉市〕

計 4箇所5件

2 文化財の特徴等

名称	所在地	特徴等	建設年代等
飯田家住宅主屋	鳥取市鹿野町中園	鹿野町の農村部に所在する農家。明治後期建築の鹿野城下の大型町家を大正後期頃に移築したもので、鹿野の町家建築の特徴をよく示すとともに、住宅流通の実態を知る上で貴重。	明治後期建築/ 大正後期移築増築・ 昭和45・55年改修
旧吉田医院	鳥取市瓦町	医師で民藝プロデューサーの吉田璋也の自院及び自邸で、医院が昭和27年（1952年）に、住宅が昭和28年（1953年）に吉田の設計によって建築された。いずれも外観は土蔵風。内部は世界各地の多様な意匠や建築様式を取り入れながら、同色調で仕上げることで、統一感のある空間にまとめている。高い意匠性をもち、多様な民族様式の総合を目指した民藝建築の特色をよく示す。	昭和27年建築
旧吉田璋也家住宅主屋			昭和28年建築/ 昭和29年頃・昭和35年頃増築
旧外江屋店舗（米子まちなか観光案内所）	米子市灘町	米子城下町の灘町に位置する町家。慶応2年（1866年）の建築。米子の小規模町家の中では古い遺構で、米子の町家の変遷を知る上で貴重。現在、「米子まちなか観光案内所」として、米子の町家・町並みの保存活用活動の拠点として活用されている。	慶應2年（1866年）建築/ 昭和34年頃・平成30年改修
旧高多家住宅主屋	倉吉市河原町	八橋往来に面して建つ町家。明治35年（1902年）の建築。倉吉町の商業最盛期に建築、使用された店舗兼住宅で、当時の倉吉の町家の様式をよく伝える。	明治35年建築/ 大正前期・昭和43年改修

3 今回、国で答申が行われる建造物の概要

登録数	今回答申分		累計
		132件	13,097件
時代別登録件数	江戸以前	27件	2,331件
	明治	42件	4,147件
	大正	22件	2,652件
	昭和	41件	3,967件

4 鳥取県の状況

①鳥取県の国登録文化財、国・県指定文化財総数（今回登録後・未告示含む）

国登録文化財	国指定・選定文化財	県指定・選定文化財
(246)	(18)	(25)※
252	125	315

()内は建造物の数

※「彫刻及び建造物」1件含む

○飯田家住宅主屋



外観



表の間（町家の店に当たる部屋）

○旧吉田医院、旧吉田璋也家住宅主屋



旧吉田医院外観



旧吉田医院玄関階段



旧吉田璋也家住宅主屋外観

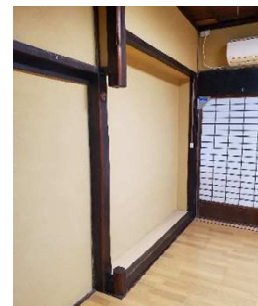


旧吉田璋也家住宅主屋 茶の間

○旧外江屋店舗（米子まちなか観光案内所）



外観



浅い床の間（米子の古い小規模町家の特徴）

○旧高多家住宅主屋



外観



奥の間

みんなで地方創生事業の執行状況について

令和3年3月24日
中部総合事務所
西部総合事務所

地方創生の実現に向けて、民間団体等が取り組む地方創生に資する取組を支援し、官民一体となった取組を推進するため、地域の実情や特性に配慮しながら、時機を失することなく効果的に事業が実施できるよう、東部地域振興事務所、中部総合事務所及び西部総合事務所において実施している「みんなで地方創生事業」の執行状況を報告します。

1 中部総合事務所

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行額	成果等
琴浦・北栄・湯梨浜グルメキャンペーン事業	<p>新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ飲食店の利用を促すため、山陰道で結ばれる3町を「食」でつなぎ、飲食店を巡るスタンプラリーキャンペーンを実施した。</p> <p><概要></p> <p>(1) 開催時期 9月5日～12月末の4か月</p> <p>(2) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3町の飲食店をめぐるスタンプラリーキャンペーンの実施 ・応募者への地元特産品のプレゼント ・地元ケーブルテレビでの広報 <p>(3) 補助対象経費 600千円(10/10)</p>	<p>琴浦・北栄・湯梨浜グルメキャンペーン実行委員会 (事務局：鳥取中部観光推進機構)</p> <p>構成団体：湯梨浜町、琴浦町、北栄町、各町観光協会、各町商工会、鳥取中部観光推進機構</p>	600,000	<p>参加店舗数 48店舗 総応募数 302件 (琴浦101件、北栄42件、湯梨浜75件、その他地域84件) 押印総スタンプ数 2,399個 (応募者1人当たり8個) TCC放映数 各店舗38回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元をはじめ圏域外からの誘客促進を図り、消費拡大による地域の活性化支援を実施。 ・応募者の中から抽選で地元特産品をプレゼントすることで、県産品の魅力を発信。 ・参加店舗からも好評。参加者からも飲食店を応援したいとの声もあった。
コロナ感染拡大防止対策普及啓発事業	<p>with コロナの中で、感染予防対策や事業継続の取組を県中部地域で加速化させるため、地域密着型の情報誌とタイアップし、啓発事業を実施した。</p> <p>(1) 掲載誌 株式会社中広くらはら編集室(倉吉市山根)発行の県中部の地域情報紙「くらはら」※きめ細かな情報周知を行うため各戸配布の情報誌を選定した。 発行部数 37,200部</p> <p>(2) 実施時期 同誌11月号、1月号、2月号 ※12月号は本庁新時代・SDGs推進課が出稿</p>	中部総合事務所地域振興局	386,000	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対策認証事業所の拡大。 (31事業所(3月4日時点)) ・「コロナに打ち克つ新しい生活様式出前相談会」の拡大。 (9回(3月16日時点)) ・掲載された支援制度への問合せがあった。 <p>(参考) 中部総合事務所HP 「鳥取看護大学と中部総合事務所との協働プロジェクト」 https://www.pref.tottori.lg.jp/94636.htm</p>

	<p>(3) 掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対策認証事業所とその感染対策 ・国、県の事業所支援制度 ・安心観光・飲食エリア（はわい温泉・東郷温泉エリア）の紹介 ・鳥取看護大学と中部総合事務所との協働プロジェクト「コロナに打ち克つ新しい生活様式出前相談会」の紹介 <p>(4) 実施方法 広告出稿（タイアップ記事）</p>			
合計			986,000	

2 西部総合事務所

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行額	成果等
まちなかナイトクルージング@彫刻ロード事業	<p>米子市が進める「歩いて楽しいまちづくりの推進～米子駅周辺ウォークブル推進事業」のひとつとして、ナイトウォークにポイントを絞り、米子市内各所（米子城、文化ホール、公会堂、山陰歴史館、鳥大医学部付属病院）で実施されているライトアップやイルミネーションにあわせ、初の試みとして文化ホールから始まる彫刻ロードの一部（コンベンションセンター横付近～新加茂川橋の新加茂川沿い 300m）の彫刻5基をライトアップすることで、あらたな動線を生み出し、観光客や市民の街中観光、市街地ウォークを促し賑わいの創出を図った。</p> <p>期間中(R3. 1. 8～R3. 1. 31)には、彫刻ロードをはじめ、各所で実施されたライトアップやイルミネーションの撮影写真を投稿（インスタ）するようにSNSから呼びかけ、投稿者には景品を用意するなどしてイベント全体の盛りあげを図った。</p>	米子彫刻ネットワーク	600,000	<p>各所で行われたライトアップに併せ、彫刻ロード（彫刻）をライトアップする「光の道」で繋げることは、観光客や市民の非常に好評で、「きれいでもともとよかった」「来年も実施してほしい」などの意見が多数寄せられた。</p> <p>また、悪天候の日も多かったものの、期間中延べ1千人の人の流れを生み出すことができ、彫刻ロードの位置的な重要性とともにコロナ禍の中で密にならない取り組みの可能性を認識することも出来た。</p>
合計			600,000	